

添付資料3-1

仕様書
北生発 20205029745号

試験名：次亜塩素酸水の気化による浮遊ウイルスの除去性能評価試験（25 m³空間）

目的：次亜塩素酸水を気化させることによって浮遊ウイルスがどの程度除去されるかを評価する。

試験方法：JEM1467「家庭用空気清浄機」の附属書D「浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験」を参考

試験品：次亜塩素酸水（名称：xx、品番：xx、製造者：xx、濃度：xx、pH：xx）
噴霧器（名称：xx、品番：xx、製造者：xx、加湿方式：xx、加湿量：xx）

試験ウイルス：*Escherichia coli* phage MS2 NBRC 102619

試験空間：25 m³試験チャンバー（幅2.7×奥行3.8×高さ2.4 m）

試験概略：

試験チャンバー内に次亜塩素酸水を入れた噴霧器を配置する。攪拌ファンを運転している状態でネブライザーを用いてチャンバー内に試験ウイルスを噴霧して浮遊させる。初発（0分）の浮遊ウイルスをインピンジャーを用いて捕集し、加湿器を運転する。経時的にチャンバー内の空気をインピンジャーで吸引し、浮遊ウイルスを捕集する。インピンジャーの捕集液を適宜希釈し、ウイルス数を測定する。コントロールとして試験品を運転しない条件（自然減衰）で同様に試験する。

表. 測定件数

試験条件	時間（分、仮）				
	0	15	30	45	60
①自然減衰 （コントロール）	●	●	●	●	●
②次亜塩素酸水	●	●	●	●	●

試験環境（試験開始時）：温度23±5 °C、湿度50±10%RH

試験ウイルス液のウイルス数：約10⁹ PFU/mL

試験ウイルス液の噴霧量：約2 mL（0.2 mL/分×10分）

空間ウイルス数：約10⁸ PFU/m³

空気捕集量：20 L（10 L/分×2分）

●：ウイルス数測定（浮遊ウイルス捕集後に測定） 10 件

試験日：未定

納期：試験日から約1週間後に速報、試験日から約1箇月後に報告書を発送

試験の条件変更につきまして：

準備の都合上、試験日の1週間前を過ぎると、試験条件を変更することはできません。